岩手郡医報

題字　高橋　孝

絵　三善　マモル

岩手郡医師会
No.79／2004年11月

表紙のことば

秋の訪れと共に、大自然からのプレゼントが店先に届くようになると、描きたくなる題材の一つが茸です。

玉山村　　三　善　マモル

巻頭言

地域医師会のこれから

岩手郡医師会顧問（前会長）
高　橋　牧之介

岩手郡医師会長を辞して半歳余、来し方を振り返れば様々な思い出が胸中を去来します。全体としては喜怒哀楽の綯(な)い交ぜですが、歯に衣を着せずに言えば『怒り』と『哀』の比重が大といわざるを得ません。

県内16郡市医師会中6位の108名の会員を擁する岩手郡医師会としては、アクティビティーに欠けるところがあると思います。具体的には総会・講演会・委員会・諸催事などの医師会活動への参加者が少ないと、言い換えれば会員の多くが無関心で、活動は限られた会員のみということです。意見・情報などの流れも双方向の時代なのに、一方通行といった現状にあります。

これから「聖域なき構造改革」の怒涛があらゆる医師会を襲うでしょう。このような時代になればこそ、地域医師会の活性化と充実を図ることが求められます。そのためには、会員それぞれが自己の責任と能力に応じた形で全員参加することが不可欠と思います。

年代・立場・個々の考え方などの相違を認めながらも、英知を結集して存在感溢れる岩手郡医師会にならんことを念じて止みません。

目　次

巻　頭　言 …… 岩手郡医師会顧問(前会長)　高　橋　牧之介 …… 1

新役員の自己紹介 …… 理事13名、監事２名 …… 2

理事会議事録

平成16年度第３回理事会議事録 …… 総務担当理事　久保谷　康　夫 …… 7

総務会報告

平成16年度第２回総務会 …… 総務担当理事　篠　村　達　雅 …… 8

平成16年度第３回総務会 …… 総務担当理事　篠　村　達　雅 …… 8

部会報告

地域医療部会 …… 地域医療担当理事　久保谷　康　夫 …… 9

広報部会 …… 広報担当理事　栃　内　秀　彦 …… 10

勤務医部会 …… 勤務医担当理事　岡　田　行　生 …… 11

産業医部会 …… 産業医担当理事　三　善　　悟 …… 12

学校医部会 …… 学校医担当理事　上　原　充　郎 …… 12

行事報告

第56回岩手県医師会親睦野球大会遠征記　医師会野球チーム　三　善　　悟 …… 13

第38回岩手県医師会親睦ゴルフ大会を主催して

…… 大会運営委員長　久保谷　康　夫 …… 14

岩手県北周産期研究会報告 …… 塚谷医院　塚　谷　栄　紀 …… 15

お知らせ …… 16

新役員の自己紹介

理事13名

会長

及　川　忠　人（東八幡平病院　院長　松尾村）

世代を越えた御支援をいただきながら会長の務めに全力を傾注したいと考えております。

（詳しくは前号の巻頭言を御覧下さい）

副会長　健康教育・生涯教育 担当理事

高　橋　　孝（高橋医院　院長　雫石町）

つい、つい年寄りの理事になってしまったが、あの時はどうだった？あの頃はどうだった？に一生懸命記憶をたどり、答えようとする老人も仲間の一人に入れて下さい。よろしく

副会長　産業医・有床診療所・医師連盟 担当理事

西　島　康　之（西島医院　院長　葛巻町）

平成16年2月に行われた通常総会において、岩手郡医師会副会長に選任されました。高橋牧之介前会長のもとで数年にわたり医師会活動に携わってきました。前会長には、ご迷惑ばかりおかけしたのではないかと思っています。非才の私ですが郡医師会役員と会員相互の和、そして、地域医療・保健医療活動を通して、地域住民の信望に応え、岩手郡医師会の発展・向上のため、及川忠人新会長のもと努力する覚悟であります。

会員諸先生方からの、更なるご指導・ご鞭撻とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総務・地域医療・医師連盟 担当理事

篠　村　達　雅（篠村外科　院長　雫石町）

理解せぬままに大役を引き受けてしまった。無我夢中のうちに6ヶ月過ぎようとしている。医師会とは…。医師連盟とは…。会員の皆様のために何を為すべきか再考しながら雑用係に徹します。種々のアドバイスお願い致します。

また、大事なことは政治の場で決まっていく。選挙の時の得票数が少ないと、政府、与党、官僚、どこでも相手にしてくれないという。そのことを会員の皆様によくわかってもらいたいと思います。

総務・広報 担当理事

栃 内 秀 彦（栃内病院 第二病院　滝沢村）

広報委員会の活動は、県医師会広報活動への協力と岩手郡医師会活動を会員ならびに会員関係者にお伝えすることと思います。主な仕事として県医師会へはいわて医報への投稿、郡医師会へは岩手郡医報の作成です。

本年度、新たなメンバーによる委員会になりました。インターネットを利用し出来るだけ効率のよい会報作成を目指す予定です。

当初会員の皆様にはご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、諸兄には長い目で見ていただいてのご指導をお願いいたします。

医療保険・労災・学校医 担当理事

佐々木 久 夫（佐々木医院　院長　岩手町）

保険医療の正確な伝達に務めます。

健康教育担当理事

飯 島 仁（飯島医院　院長　滝沢村）

新参者です。よろしくお願い申し上げます。

私は盛岡赤十字病院に勤務している時に紫波郡医師会の理事をやらせて頂いておりましたが、そのころから医師会の全ての情報が、会員に伝わっていないような気がしておりました。言い換えれば、医師会の役員でなければ解らない情報があるのではという感じがありました。

もちろん、医師会総会や医師会報などで全ての情報を開示しているはずですが、総会に出席しなかったり、医師会報を読まなかったりで、情報が伝わりにくい環境であったと考えて居りました。

そこで、私は岩手郡医師会の連絡網をＩＴ化して、メーリングリスト形式で全情報が瞬時に会員全員に伝わるように、また会員から医師会の方への逆情報も伝わり易いようにしたいと考えて居ります。

産業医・勤務医 担当理事

三　善　　悟（介護老人保健施設 ケアホームやすみ　施設長　玉山村）

平成16年度産業保健の事業計画として

1、産業医研修事業への対応

2、メンタルヘルスケアの向上とその支援

3、健康診断の事後措置の徹底

の3点について実行したいと考えております

学校医担当理事

上　原　充　郎（上原小児科医院　院長　雫石町）

高橋牧之介会長が辞任され、及川忠人会長による新体制がスタートした。立候補して理事になったのだから全力で任務に取り組むのは当然である。

高橋前会長は辞任にあたり新会長による若さあふれる発想による会の運営を望んでおられた。私は二人の会長のもとに理事として会の運営に携わることになる。

新会長がいかに新しい若々しい考えのもとに会を運営するかをしっかり確認して理事を終えたいと思います。

広報担当理事

紺　野　敏　昭（こんの神経内科脳神経外科クリニック　院長　滝沢村）

この度は、伝統ある岩手郡医師会の理事の大役を拝命しその責任の重さを痛感しております。1期目は医師会活動とはどんなもので、どのようなことをしているのかを教えていただきました。医師会活動が多岐にわたっていることに改めて驚いたものです。

もとより知識も乏しく、思慮も浅いのですが会員の皆様のお力をお借りしながら責任をまっとうできるように努力してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

勤務医担当理事

岡　田　行　生（県立沼宮内病院　院長　岩手町）

政府による診療報酬誘導による医療改革が押しすすめられていますが、医師会活動（勤務医部会）を通して地域病院のあり方や役割について考えていきたいと思います。

総務・地域医療・医療保険・労災 担当理事

久保谷　康　夫（鶯宿温泉病院　院長　雫石町）

４年間、地域医療を担当して参りましたので、今年は自分から要望して保険・労災も担当させていただく事になりました。支払い基金の審査員を拝命していますので、療養担当規則や保険請求に関する情報なども適宜適切に提供したいと考えています。

今春から、岩手郡医師会会員専用のＥメールの情報網を作りあげました。沢山の情報を日夜発信しています。座礁しないようにその情報網をご活用いただけるようになることもわたしの職務と考えております。

また会員相互の親睦はもとより、歯科医師会、薬剤師会、介護関連さらには行政などとの連携・親睦が意思の疎通・情報の共有には不可欠のファクターとなってまいりました。情報の非対称を少なくするために、医師会会員が気楽に参加できる地域医療フォーラムのような他職種の方々との集会・意見交換会を企画実行したいと考えます。

広報担当理事

成　島　勝之助（成島整形外科　院長　玉山村）

初めての理事であり、右も左もわかりません。まづは会報の定期発行に向けて努力するつもりです。皆様の御協力を宜しくお願いします。

監事2名

監　事

嶋　　信（嶋医院　院長　西根町）

このたび平成16年度の役員改選期にあたり、先輩の先生のすすめもあり、断われずに監事を務めることになり、しばらくお手伝いすることとなりました。

今までをふり返っても、あまり役立つ様な医師会活動はできなかったように思っていますが、自分なりにできることからコツコツとやってきたつもりです。

入会以来歴代の会長も、上野精三会長（故人）、宮杜亨会長、高橋牧之介会長とそれぞれの特色を出して少ない会員を適切な指導助言して下さり、今日の100名を超える会員数となったと思います。

現在の会員同士の一致結束こそがこれからの医師会活動を左右するものと考えます。

これからますます多くの会員が、医師会という組織を十分理解し、より多くの意見を出し合いながら発展することを望むものであります。

監　事

土井尻　健　一（土井尻医院　院長　滝沢村）

冠動脈疾患のカテーテル治療に専念しながら突然開業してしまってはや20年、本来開業医はどんな患者さんでも診なければならないでしょうが、医局にいた頃はまさに専門医ブームで、開業してからもこの感覚が抜け切れずにいます。

現在心エコーで診る、特に冠動脈狭窄病変の好発部位を非観血的にチェックするコロナリーエコーを外来レベルで活用している全国的にも珍しい存在になっており、そのため毎日のように紹介やホームページを見ての患者さんが来院しております。

理事会議事録

平成16年度 第3回理事会議事録

総務担当理事　久保谷　康　夫

日　時：平成16年8月17日(金)
　　午後6時
場　所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、
　　西島康之副会長、岡田行生、
　　上原充郎、久保谷康夫、紺野敏昭、
　　佐々木久夫、篠村達雅、栃内秀彦、
　　成島勝之助、三善悟の各理事。

【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があった。

【報告事項】

1）岩手県医師会臨時代議員会報告(及川会長)

平成16年6月19日に県医師会館で行われた岩手県医師会代議員会について報告した。

2）岩手県医師連盟執行委員会報告(及川会長)

先の参議院選挙結果について報告があった。(西島候補に関しては、全国的にも得票率が多かった。しかし、残念ながら地区候補の高橋洋介候補が落選された。)

3）学校医部会報告(上原理事)

平成17年1月16日に岩手県学校医大会が開催予定。

学校における結核検診の実施状況・結果について報告があった。(学校医が診察の結果検討不要と判断した場合には、学校医などが備考欄に記入すること。)

4）産業医部会報告(三善理事)

平成16年度産業医研修実施計画について報告した。

5）診療所部会報告（西島副会長）

部会長に岩手郡前会長の高橋牧之介先生が選出された。

6）一般会計収支状況報告（及川会長）

平成16年度岩手郡医師会予算執行状況について報告した。

【協議事項】

1）平成16年度岩手郡救急医療懇談会および救急医療講演会の実施について（及川会長）

協議した結果以下の案が承認された。

日　時：平成16年9月6日(月)
　　午後3時
場　所：イーハトーブこずかた
出席者：各町村救急医療担当課長、盛岡消防本部および各分署救急担当者、医師会役員など
講演会：救急医療の現状と課題
演　者：岩手医大救急センター
　　黒田清司教授

2）岩手郡医師会自浄作用活性委員会の設置について（及川会長）

現在、一関市、二戸医師会の2医師会が設置済みである。総務会一任とした。

3）岩手県医師会親睦野球大会の参加について（及川会長）

8月22日に開催される野球大会に

関して承認された。

4）岩手県医師会親睦ゴルフ大会の準備状況について（久保谷理事）

9月26日開催されるゴルフ大会の行事ならびに予算案について承認された。

5）町民健康講座について（及川会長）

下記案が承認された。

日　時：平成16年10月30日(土)
　　午後1時
場　所：松尾総合福祉センター
主　題：健康と生活機能

6）痴呆ケアーのためのかかりつけ医研修について（及川会長）

以下の予定が報告された。

日　時：平成16年8月19日(木)
　　午後7時
場　所：岩手県医師会館
講　演：痴呆診療における地域との関わり方

7）第98回岩手県医師会勤務医部会幹事会ならびに盛岡市・岩手郡・紫波郡医師会勤務医部会 会員懇談会について（岡田理事）

会議などについて報告された。

日　時：平成16年8月28日(土)
　　午後3時
場　所：岩手県医師会館
テーマ：「政策誘導による医療連携・機能分担への対応」

8）地域医療研修センター主催「医療講演会」について（及川会長）

講演内容などについて報告された。

日　時：平成16年9月10日(金)
　　午後5時半
場　所：岩手県立中央病院4階大ホール
演　題：「やがて来るDPCへの対応」

9）平成16年度岩手郡医師会主要活動計画の状況について（及川会長）

今年度計画案を報告し承認された。

10）各種委員会の報告フォームについて（及川会長）

各種委員会に関わるフォーマット案について承認された。

11）会報の内容などについて（栃内理事）

広報委員会から平成16年度の予算および執筆依頼案に関して承認された。

以上で議事を終了した。

総務会報告

第2回総務会

総務担当理事　篠　村　達　雅

日　時：平成16年5月11日(火)
　　午後6時半
場　所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
出席者：高橋牧之介前会長、及川忠人会長、高橋孝副会長、西島康之副会長、久保谷康夫、篠村雅達、栃内秀彦の各理事。

第3回総務会

総務担当理事　篠　村　達　雅

日　時：平成16年7月1日(木)
　　午後6時
場　所：ホテルメトロポリタン盛岡本館
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、西島康之副会長、久保谷康夫、篠村達雅、栃内秀彦の各理事。

部　会　報　告

地　域　医　療　部　会

1．第1回岩手郡医師会・歯科医師会合同会議

地域医療担当理事　久保谷　康　夫

平成16年8月7日、岩手郡医師会地域医療担当者と岩手郡歯科医師会地域医療担当者の合同協議会を開催した。これは、医師会ならびに歯科医師会が共同でどのように地域医療に貢献できるか。あるいは児童虐待や地域の思春期問題に対する情報の共有化などについて、さらには歯科医師会との病診連携や診診連携について話し合いを持った。

2．第1回岩手郡医師会、歯科医師会交流野球試合

医師会野球チームヘッドコーチ　三善　悟

「平成16年8月7日、岩手郡医師会と岩手郡歯科医師会による親睦野球を県営野球場で」との通知を貰いました。同じ日、私の勤める老健施設の夏祭りと家族会があるので参加出来るかどうか、懇親会には出ますと返事した様に記憶しています。夏祭りは比較的早く終わり、間に合う様に試合に出かけること出来ました。

午後4時、歯科医師会ベンチには沢山の人が居り、我々の方は9人ギリギリでしたが試合開始。歯科先攻でショート内野安打、四球、サードオーバーのヒット、振り逃げ、サード強襲ヒット、盗塁、暴投を絡めて5点先取された。矢張り危惧していた通りの結果。

2回もエラー、デッドボール、暴投で2点取られたが、三振、ショートゴロ、セカンドフライで押さえた。

3回はサードゴロ、三振、ライトオーバーの二塁打と盗塁でツーアウト三塁とされたが三振でチェンジ。

4回は三塁打、四球、エラー2ヶ絡みで3点。セカンドからキャッチャーへのバックホームでランナー刺す場面もあり、応援の山口淑子先生より「かっこいい～」との声があったが、薄井知道先生聞こえていましたか？

我が岩手郡チームは、1回ウラ、四球1個とフライ3。2回は四球、盗塁にファースト右を抜くヒットで1点。ここでも薄井先生は男を上げた。

3回はヒット、ヒット、四球でノーアウトフルベースと押しに押したがレフトフライ、ショートフライ、ショートゴロで0点。

4回はサードゴロ、センターフライで2死。トップに戻り四球を選び、すぐに盗塁。及川会長PHで出たが、残念ながらPゴロで試合終了。

10-1で歯科医師会チームの完勝でした。

3．平成16年度岩手郡救急医療対策懇談会および救急医療講演会

地域医療担当理事　久保谷　康　夫

日　時：平成16年9月6日(月)
　　午後3時

場　所：イーハトーブこずかた

内　容：岩手郡医師会理事（会長・副会長・総務及び地域医療担当理事）と岩手郡を構成する町村の救急医療担当者（町村保健・健康福祉課課長など)ならびに盛岡地区広域行政の消防本部および消防分署担当者(分署署長)が会同して、岩手郡の救急医療に関する協議を行った。

【協議事項】

1）岩手郡医師会救急医療対策協議会の設置について

（1）岩手郡医師会救急医療対策協議会設置要綱の制定について

（設置）第１条　岩手郡内における救急医療の円滑な運営に資するため、社団法人岩手郡医師会に岩手郡救急医療対策協議会を置く。などの、設置要綱案が承認された。

（2）岩手郡医師会救急医療対策協議会委員の委嘱

岩手郡医師会救急医療対策協議会設置要綱に基づき、委員が委嘱された。

行政側は郡内８町村の救急医療に関わる課長、消防は盛岡消防本部の消防課長ならびに岩手郡を管轄する郡内消防署の署長、医師会は会長・副会長、総務担当理事および地域医療担当理事である。

（3）副会長の指名

岩手郡医師会救急医療対策協議会設置要綱に基づき、副会長に行政側から松尾村課長および盛岡消防本部消防課長が指名された。

2）救急医療にかかわる地域の諸問題について

〔平成16年度岩手郡救急医療講演会〕

演　題：「救急医療の現状と課題」

講　師：岩手医大救急センター
黒田清司教授

懇談会終了後に、岩手郡救急医療対策懇談会出席者および行政担当者ならびに消防分署の多数の担当者が出席して、講演会を聴講した。

広　報　部　会

広報担当理事　栃　内　秀　彦

1．第１回岩手郡医師会　広報部会

日　時：平成16年5月17日(月)
午後7時

場　所：栃内第二病院

出席者：及川忠人会長、紺野敏明、栃内秀彦、成島勝之助の各理事。

【協議事項】

1）会報発行の予定検討

今年度は３回発刊することとした。

2）会報部会用のメーリングリストを作る。

久保谷理事に依頼することとした。

3）印刷所の検討

数社より見積りをとった後決定することとした。

4）今年度の医師会事業の確認

2．第2回岩手郡医師会　広報部会

日　時：平成16年6月1日(火)
　　午後7時
場　所：みちのく愛隣協会事務室
出席者：及川忠人会長、紺野敏昭、栃内秀彦、成島勝之助の各理事。

【協議事項】

1）広報委員会基本方針の検討
2）会報内容の検討
3）会報編集委員の選定
　山口淑子、植田修、秋濱朋子の3氏を選んだ。

3．第3回岩手郡医師会　広報部会

日　時：平成16年7月22日(木)
　　午後7時
場　所：大通りLiLio
出席者：及川忠人会長、紺野敏昭、栃内秀彦、成島勝之助の各理事。秋濱朋子、植田修、山口淑子の編集委員。
　　アドバイザー：久保谷康夫。

【協議事項】

1）会報No.78 2004年第1号の具体的内容について
2）今後の会報委員会のあり方について。

勤　務　医　部　会

勤務医担当理事　岡　田　行　生

1．第98回岩手県医師会勤務医部会幹事会ならびに盛岡市・岩手郡・紫波郡医師会勤務医部会 会員懇談会

日　時：平成16年8月28日(土)
　　午後3時
場　所：岩手県医師会館

今回の移動幹事会は盛岡医療圏の三医師会合同で開かれた。
県医師会長、三郡市医師会長の挨拶の後、報告協議が行われた。

協議では、沼宮内病院　岡田行生院長と八角病院　遠藤憲幸院長がテーマに沿ってそれぞれの地域と病院について述べた。会終了後の懇親会では遅くまで熱心に交流が行われた。いわゆる大病院では病診連携が重要な課題となっており、地域連携室を設けるようになってきており一般会員にも関心のある内容も多いと考えられる。

【報告事項】

1）活動状況について
2）岩手県地域がん・地域脳卒中登録事業について

【協議事項】

テーマ：「政策誘導による医療連携・機能分担への対応」
司　会：勤務医部会幹事　望月泉・岡田行生・山下純一
発表時間一人　6分

①県立沼宮内病院	院　長・岡　田　行　生先生
②八角病院	院　長・遠　藤　憲　幸先生
③盛岡繋温泉病院	院　長・小　西　一　樹先生
④医療法人共生会　松園病院	理事長・河　嶋　　覓先生
⑤県立中央病院	副院長・佐々木　　崇先生
⑥盛岡市立病院	副院長・原　田　一　穂先生
⑦もりおか往診クリニック	院　長・木　村　幸　博先生
⑧盛岡友愛病院	院　長・長　澤　　茂先生
⑨盛岡赤十字病院	副院長・西　城　精　一先生
⑩南昌病院	院　長・木　村　宗　孝先生

産　業　医　部　会

産業医担当理事　三　善　　悟

1．第63回岩手県医師会産業医部会幹事会

日　時：平成16年6月26日(土)
　　午後2時
場　所：岩手県医師会館

【報告事項】

1）平成15年度活動状況について
2）産業医名簿作製について

【協議事項】

1）産業医部会会長に岩動孝、副会長に松浦武彦、遠藤直樹氏を互選で決定した。
2）平成16年度事業計画および予算について
3）平成16年度産業医研修実施について

平成16年度 産業医研修実施計画

日　　時	研　　修　　会　　名	場　　所
5月6日(日)　9:00	東北ブロック日医認定産業医制度基礎(前期)研修会	福島県
6月22日(火)　18:30	花巻市医師会産業医研修会	ホテル花城
6月26日(土)　13:30	岩手産業保健推進センター第1回産業医研修会	岩手県自治会館
7月8日(木)～10日(土)	第36回産業医学講習会(生涯研修)	日本医師会館
7月17日(土)　13:30	岩手産業保健推進センター第2回産業医研修会	岩手県自治会館
8月25日(水)　13:30	二戸医師会実地研修会	㈱銀座ファッション
8月28日(土)　13:30	岩手産業保健推進センター第3回産業医研修会	岩手県自治会館
9月25日(土)　13:30	岩手産業保健推進センター第4回産業医研修会	岩手県自治会館
11月6日(土)　13:30	岩手産業保健推進センター第5回産業医研修会	岩手県自治会館
11月中旬(土)	平成16年度日医認定産業医基礎(後期)・生涯(更新・専門)研修会	岩手県医師会館
11月下旬(土)	平成16年度日医認定産業医基礎・生涯(実地)研修会(2回開催)	岩手医大実習室
1月下旬(土)	日医認定産業医基礎(後期)・生涯(更新・専門)／スポーツ医学再研修会	岩手県医師会館

学　校　医　部　会

学校医担当理事　上　原　充　郎

1．第1回岩手県医師会学校医部会幹事会

日　時：平成16年7月10日(土)
　　午後3時
場　所：岩手県医師会館

【報告事項】

1）平成15年度事業報告について
2）平成15年度学校検診結果報告について　　岩手県予防医学協会
3）平成16年度郡市医師会学校医部会事業計画について
4）第16回東北学校保健・学校医大会について
5）第35回全国学校保健・学校医大会について
6）結核検診アンケート結果について
7）その他

【協議事項】

1）平成16年度事業の実施について
2）岩手県教育委員会と岩手県医師会との懇談会開催について
3）第21回岩手県学校保健・学校医大会開催について
4）脊柱側弯検診について
5）その他

行事報告 その1

第56回岩手県医師会 親睦野球大会・遠征記

医師会野球チーム　ヘッドコーチ　三　善　　悟

第56回大会は水沢医師会主催のもと平成16年8月22日(日)に水沢市で開催された。

8月21日(土)、午後4時、西島、久保谷、栃内、大津、植田、三善の6人はマイクロバスに乗り、試合前日の宿泊地北上シティープラザホテルを目指して出発した。

一行はホテル到着後、午後6時半にホテル内の和食処「日高見」で一足早く作戦会議をはじめ、間もなく及川会長も合流し会は最高に盛り上がった。

試合当日の8月22日(日)は去年とはうって変って雲一つない日本晴れ。佐々木久夫先生ご夫妻、篠村達雅先生、立本仁先生ご一家、坂本牧子先生が応援に駆けつけてくださった。

応援団の熱唱のなか、10時プレイボール。相手は県立中央病院Bチームに8-1で圧勝した気仙チーム。芳賀助監督は岩手郡が平成7年の大会で完全試合を喰らった時の二戸の四番。恐らく組みし易しと思ったのであろう。メンバーの平均年齢は、岩手が49.3才、気仙が38.1才であった。

試合を実況中継してみよう。(字数の関係も有るので岩手郡の攻撃記にする)

一回表1番植田三振、2番大津セカンドゴロで2アウト、3番久保谷三遊間ヒット、4番成島セカンドフライエラーで一・二塁、5番薄井レフト左へヒット、久保谷スタート遅れ3塁に自重。6番嶋のPゴロで残念ながら0。

二回表7番清水四球、8番坂本死球、9番木村三振、1番に戻り植田の三ゴロで二塁走者清水三封、2番大津遊ゴロでこの回も0点。

三回表3番久保谷三ゴロ、4番成島三振、二死から5番薄井四球選び、6番嶋のレフトオーバーの二塁打で薄井ホームイン同点となった。7番清水遊飛。三回裏気仙2番ショート内野安打、盗塁、4番の二ゴロ一塁悪送球の間にホームイン。気仙一点リード。

いままでの岩手郡なら、ここで終了したのだが、ここからが面白い。

四回表8番坂本ニゴロ一塁悪送球の間に二進、一死後植田のレフトオーバーの二塁打で坂本ホームイン。大津の三ゴロ一塁へ悪送球の間に植田ホームイン、久保谷の三ゴロで大津三塁へ、4番成島のレフトオーバーの二塁打で大津生還、5番薄井のセンター横のヒットで成島還りこの回4点を挙げた。四回裏気仙に四球にヒット絡みで1点取られたが後続を断ち、5-3で快勝。

その後懇親会会場へ移動し　3位の表彰を受け晴々と帰途につきました。来年は久慈。野球大好きの久保谷監督、還暦野球で張切っている嶋主将以下皆で又遠征しましょう。清水投手も来年は、走り込むそうです。応援に来られた皆さんごくろう様でした。ありがとうございました。

勝って満足。

行事報告 その2

第38回岩手県医師会 親睦ゴルフ大会を主催して

大会運営委員長　久保谷　康　夫

日　時：平成16年9月26日(日)
　　午前9：10 ショットガンスタート
場　所：岩手沼宮内カントリークラブ
担　当：岩手郡医師会・二戸医師会
　　久慈医師会

台風の流行年でしたが、絶好の秋晴れに恵まれて、岩手県医師会親睦ゴルフ大会を無事開催することができました。

今大会は「親睦」の機会を設けることをはじめに考え、そのためにスタートやプレー途中の食事などに関して今までにない方式を採り入れました。すなわち、スタートは通称ショットガン方式を採用し、1番ホールから18番ホールまで全てのホールのティグラウンドから花火の合図で同時に一斉にスタートしました。30台余りのゴルフカートがクラブハウスから各ホールに向かって鈴なりにコースを移動するさまは、まさに一興・一驚でありました。

18ホールを連続でプレーするために、軽食や飲料水をゴルフカートに搭載し、医師会の大会らしく低血糖や脱水にも注意を払いましたが、夏場の医師会野球大会のように心臓の除細動器はさすがに用意はしませんでした。

県医師会のゴルフ大会に関しては「腕を競いたい」と“無謀”なことをおっしゃる会員の声もちらほらと耳にしていましたので、各郡市医師会上位4名の合計スクラッチ数で優劣を競うグロス方式での対抗戦も企画しました。初めての試みでしたが、グロス76と78のスコアを出した花巻市医師会が栄えある優勝に輝きました。「花巻の先生方は日ごろ仕事をしているのだろうか？」などという冗談も冗談には聞こえない程の立派なスコアでした。

さあ、出発。

始球式。

また、今回は案内の小冊子をプレー2週前までに参加者にお届けし、プレー前の楽しい雰囲気を味わっていただきました。その冊子には各郡市医師会毎のかつ医療機関名を付記した参加者名を記載しました。一緒にラウンドされた参加者がどこの誰だったか不明のままにプレーし、帰宅されたというようなエピソードが有ったためでした。

参加賞には参加名をボトルにラベリングした葛巻ワインなど岩手郡にゆかりある商品を多数用意させていただきました。今回は1、2、3位やB・B、B・Mなどに該当しなかったいわゆる飛び賞の参加者全員で、順位順に大抽選会を行いました。予算の関係で「ハズレ」も考慮しましたが、手ぶらでは岩手郡医師会の名前が廃れると苦慮し、結果トイレットペーパーのロール包みを差し上げました。「これで ウン をつかんでください」というような意味を込めました。

最後に今大会の開催にあたりご協力いただいた関係各位に衷心より感謝申し上げ、筆をおきます。

第12回岩手県北周産期研究会報告

塚谷医院　塚谷栄紀

日時：平成16年7月3日(土)
場所：「プラザあい」
当番世話人　塚谷医院　塚谷　栄紀

この研究会は周産期に携わる人たちが気軽に発表できる会をという主旨で12年前に川村英一先生のご尽力で発足しております。今回は、帝王切開を主題といたしまして、一般演題7題、特別講演1題が発表されました。

【一般演題】

座　長：岩手県立大学　蛎崎　奈津子

1「妊婦が求める母親学級の検討」
盛岡友愛病院　藤原　沙保里
ひとりで悩んでいる妊婦さんがよく見られる。その対処は？

2「満足のゆく出産体験とその要因」
もりおかこども病院　澤内　理恵
お産を終えた数人の婦人に直接話を聞きその感想をまとめる。

3「妊婦の体重自己管理指導の試み」
県立久慈病院　佐藤　和子
妊婦さんの体重管理には家族の理解と協力が必要である。

座　長：県立久慈病院　小原　剛

4「B型肝炎母子感染事業の症例検討」
県立二戸病院　関上　勇
母子感染予防には関連機関との連絡の徹底が必要である。

5「帝王切開における脊椎硬膜外麻酔の使用経験」
県立二戸病院　舟山　昭
硬膜外麻酔と脊椎麻酔との併用は術後の疼痛緩和に有効である。

6「硬膜外無痛分娩における経腟分娩例と帝王切開例
塚谷医院　塚谷　栄紀
硬膜外無痛分娩の概略とその実例2例

7「当院における帝王切開術の最近の取り組み」
坂井医院　坂井　博毅
術後血栓の予防と術前、術後の詳細なインフォームドコンセントの実例

【特別講演】

県立久慈病院　周産期センター長
善積　昇

演　題：「帝王切開…その光と影…」

産科医にとって伝家の宝刀たる帝王切開の移り変わりと適応、さらにはその安全性、優位性など細部にわたり、わかりやすく口演していただきました。

代表世話人の川村英一先生と元気な姿で出席いただいた國本恵吉先生に御挨拶をいただき、次回開催予定の二戸病院　舟山昭先生の閉会の辞があり閉会いたしました。

お知らせ

平成16年度　岩手郡医師会臨時総会

1．日　時：平成16年11月27日(土)　午後3時半

2．場　所：講話・総会・特別講演　マリオス 5階 第2会議室
　　祝　賀　会　　ホテルメトロポリタン盛岡本館 4階

3．講　話：医師会活動の近況について　(午後3時45分)
　　講師：顧問　高橋牧之介 先生

4．総　会：議　題　　(午後4時)
　　(1)自浄化作用活性化委員会の設置について
　　(2)功労金の支給について
　　(3)岩手医学会会費の取り扱いについて
　　(4)その他

5．特別講演　　(午後4時半)
　　「言志四録」に学ぶ人間学
　　講師：作家　神渡良平 先生

6．祝賀会　(午後6時 ホテルメトロポリタン盛岡本館 4階)
　　受賞者
　　瑞宝双光章受賞　秋　濱　　晃 先生
　　厚生労働大臣表彰　高　橋　牧之介 先生

なお、後日往復はがきにて出欠の確認を致しますので、よろしくご協力を御願い申し上げます。

特別講演講師ご紹介

神渡良平（かみわたり りょうへい）

1948年鹿児島生まれ。九州大学医学部中退後、新聞記者、雑誌記者を経て独立。

取材国は50数カ国に及ぶ。

38歳のとき脳梗塞で倒れ一時は半身不随と成ったが、必死のリハビリで再起。この闘病生活中に、「人生はたった一回しかないこと、またどんな人にもなすべき使命があってこの地上に送られていることを痛感する。

そしてかけがえのない人生を取りこぼさないためには、自分の経験の範囲内で考えることではなく、先人たちが掴んだ人生の知恵を活用すべきことに気づく。

こうして闘病中に起草した「安岡正篤の世界」がベストセラーに。以後、次々にベストセラーをうみ出し、講演や執筆に大多忙となる。

代表作に「安岡正篤の世界」(同文館)、「宇宙の響き―中村天風の世界」(知致出版)、「星降るカミーノ―魂の旅路」(PHP研究所)、「マザー・テレサへの旅路」(サンマーク出版)、「人は何によって輝くのか」(PHP研究所)などがある。

編集後記

急に寒さが感じられる季節になりました。毎年盛岡八幡宮のお祭りが終わると急いで秋が深まる様です。おかげさまで会報第２号が発刊にこぎつけました。

前回発刊した会報第１号において、当方の確認不十分のために、表紙の絵がカラー印刷となっておりませんでした。せっかくのアヤメのきれいな色合いが無く、寂しい印象になってしまいました。その上、通し番号が78号のところを79号としてしまいました。重ね重ねの不手際のため多くの皆様にご迷惑をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫びします。

今回、遅ればせながら新理事紹介コーナーを掲載致しました。名前と顔が一致しないという会員の声をお聞きしていましたので、このコーナーをご覧になられて、より一層会の運営が円滑になれば幸いです。

今回の医報の表紙は、三善悟先生の奥様の絵を拝借しました。この季節に「描きたくなる」題材の一つだそうです。絵を見ていますと、秋の深まりを感じると共に「食べたくなる」題材でした。

これからの定期的な会報の発刊に向け、表紙を飾る写真、絵、作品などが必要となります。自薦、他薦を問いません。会員の皆様のご協力をお願いします。

次号は来年３月に第３号を発刊の予定です。

（成島）

岩手郡医報：No.79／2004年11月発行
発　　行：社団法人　岩手郡医師会
発行責任者：岩手郡医師会会長　及　川　忠　人
事　務　局：〒028-7303　岩手郡松尾村柏台二丁目
８番２号東八幡平病院内
電話　0195-78-2607
FAX　0195-78-2555
印　　刷：㈱吉田印刷